



株主通信

第60期 報告書 2021.1.1 ▶ 2021.12.31

P7 » 特集

LOOK Group事業トピックス
LOOK Groupの環境への取り組み
株主様アンケート結果報告

株式会社 ルックホールディングス

Brand Information



イル ビゾンテ

ワニー・ディ・フィリップがデザインするイタリア・フィレンツェのバッグ&皮革製品のブランド。



イル ビゾンテ ウォモ

イル ビゾンテのメンズコレクション。

marimekko

マリメッコ

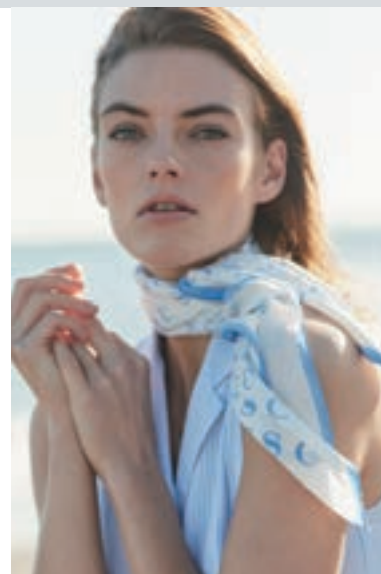
インテリア、ファッション、バッグと幅広いラインナップを扱うフィンランドのライフスタイルデザインブランド。



A.P.C.

アー・ピー・シー

本質的なエレガンスを追求した、ミニマルかつラディカルなモダン・フレンチスタイルを提案。



SCAPA

スキヤパ

ファッション都市アントワープのブランド。上質で上品、タイムレスなファッションを提案。シルエットとスタイリングにこだわりを持って発信するブランド。



CLAUS PORTO

クラウス ポルト

130年以上の歴史があるポルトガルのボディケアとフレグランスのブランド。ポルトガルの香りや風景からインスピレーションを得たフレグランスをベースに、様々な商品を展開しています。



LAISSÉ PASSÉ

レッセ・パッセ

「上品、可愛いものが好き」のDNAを持ちつつも世の中のトレンドも大人可愛く取り入れたい! そんな女の子達の気持ちを満足させるアイテムをシーンごとに展開していきます。



RAINS

レイنز

2012年にデンマークで設立された、機能的でファッションブルなレインウェアブランド。北欧らしいミニマルで洗練されたレインウェアに加え同素材のバッグやアクセサリも展開しています。



lepetto

PARIS

レペット

1947年、ローズ レペットがリレ工用シューズをデザインしたことから始まったブランド。伝統的な技術を用いて手作りされた靴は、確かなクオリティと美しさを約束します。



KEITH

キース

フリディッシュトラディショナルを継承しながら進化を続けるキースは自分らしさを常に意識する女性の為のブランド。



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの第60期（2021年1月1日から2021年12月31日まで）における事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も、当社グループは「お客さま第一主義」のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **和田 和洋**

当期の事業環境と業績の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の促進や感染拡大防止策等の効果による新規感染者数の減少に伴い、10月以降、緊急事態宣言が解除され個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、感染症拡大の長期化の影響により個人消費の低迷や経済活動が制限されるなど、総じて厳しい状況で推移しました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、緊急事態宣言の再発出などにより、店舗の臨時休業や時短営業、外出自粛の影響などによる来店客数の減少が長期化し、厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、経営環境の変化に対応すべく、EC事業のさらなる強化や重点ブランドの新規出店を推し進めるなど売上高の増加に努めるとともに、不採算ブランドの廃止や不採算店舗の閉鎖、仕入の抑制や経費の削減など、徹底した効率経営を推し進めてまいりました。

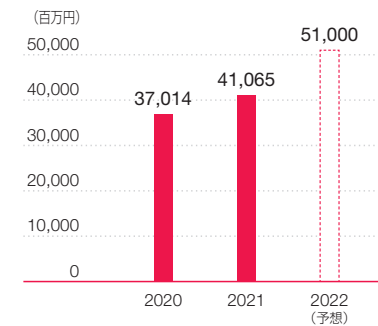
その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は410億6千5百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は27億2千5百万円（前年同期比328.1%増）、経常利益は29億7千3百万円（前年同期比250.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は19億9千1百万円（前年同期比361.1%増）となりました。

財務ハイライト（連結）

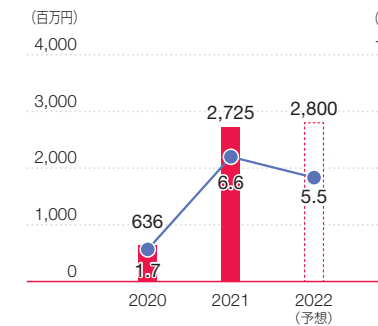
当期の業績

売上高	410億6千5百万円（前年同期比 10.9%増）
営業利益	27億2千5百万円（前年同期比 328.1%増）
経常利益	29億7千3百万円（前年同期比 250.6%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	19億9千1百万円（前年同期比 361.1%増）

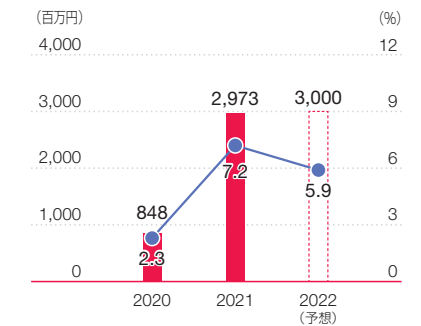
■売上高



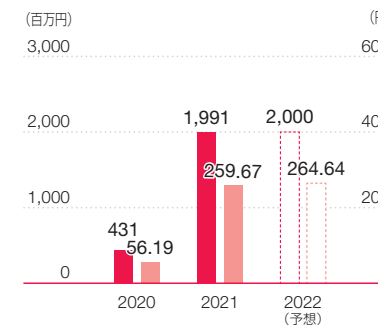
■営業利益 ●営業利益率



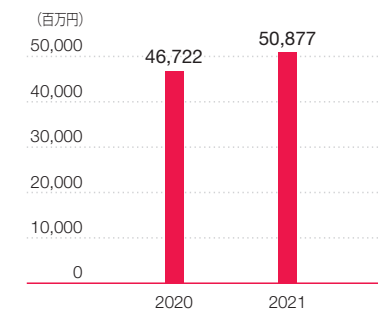
■経常利益 ●経常利益率



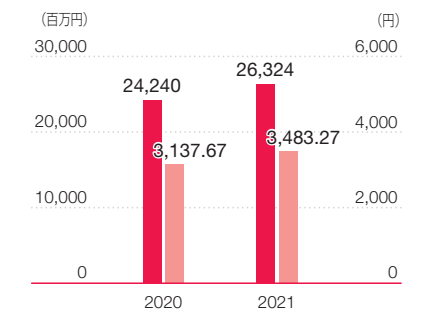
■親会社株主に帰属する当期純利益 ■1株当たり当期純利益



■総資産



■純資産 ■1株当たり純資産



(注)2022(予想)は、「収益認識に関する会計基準」等を適用した後の金額となっております。

セグメント別業績の概況

※売上高および売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

アパレル関連事業

日本

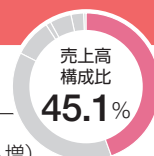
- 売上高 **210億7千4百万円** (前年同期比 4.9% 増)
- 営業利益 **11億3千5百万円** (前年同期比 148.4% 増)

店舗の時短営業や臨時休業等により厳しい環境が続きましたが、主力ブランドの「イル ビゾンテ」において新規出店策を推し進めるとともに、「A.P.C.」ではコラボレーション商品の販売を行うなど、効果的な販促活動を実施した結果、主力ブランドの売上高は前年同期を上回りました。また、EC事業においては、他社サイトへの新規出店に加え、店舗と自社ECサイトとの在庫連携機能を強化するなど、引き続きお客様の利便性向上に取り組んだことにより前年同期から売上高が増加しました。

欧州

- 売上高 **39億3千2百万円** (前年同期比 23.3% 増)
- 営業利益 **1億6千8百万円** (前年同期比 60.8% 減)

「欧州」につきましては、主力である卸売事業は引き続き堅調に推移いたしました。変異株の影響による新規感染者数の増加に伴ってイタリアやフランスの直営店舗の来店客数が回復せず、厳しい状況が続きました。



韓国

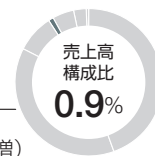
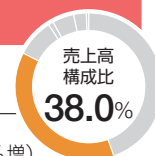
- 売上高 **177億5千6百万円** (前年同期比 18.1% 増)
- 営業利益 **18億9千3百万円** (前年同期比 171.2% 増)

「韓国」につきましては、11月以降、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しておりますが、ワクチンのブースター接種が進んでいることなどにより、店舗への来店客数が回復傾向に向かう中、株式会社アイディールックにおいては、インポートブランドの店舗での販売やプロモーションを強化した自社ECサイト「I.D.LOOKモール」での販売が好調に推移いたしました。株式会社アイディージョイにおいては、店舗数の拡大を推し進め、売上高が増加いたしました。

その他海外

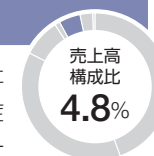
- 売上高 **4億1千6百万円** (前年同期比 5.6% 増)
- 営業損失 **1億7千7百万円** (前年同期は1億2千7百万円の営業損失)

「その他海外」(香港・中国・米国)につきましては、ルック(H.K.) Ltd.(香港)において、度重なる外出制限が発出されるなど、厳しい環境が続きました。米国においては、直営店舗の来店客数が徐々に回復傾向にあります。



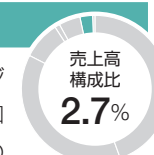
生産及びOEM事業

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により、株式会社ルックが展開するオリジナルブランドの受注が減少したことに加え、OEM事業の取扱高が減少いたしました。その結果、売上高は22億3千5百万円(前年同期比 8.4% 減)、営業損失は2千万円(前年同期は6千5百万円の営業損失)となりました。



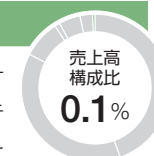
物流事業

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、主にEC物流の取扱高が増加したことにより、売上高が増加いたしました。その結果、売上高は12億4千8百万円(前年同期比4.3% 増)、営業利益は8千1百万円(前年同期比88.2% 増)となりました。



飲食事業

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッションアブルフーズ・インターナショナルが運営する「ジェラテリア マルゲラ」において、緊急事態宣言の発出にもなう店舗の臨時休業や時短営業の実施により、店舗での売上高は減少いたしました。宅配サービス等の売上高は伸びました。その結果、売上高は5千6百万円(前年同期比27.7% 増)、営業損失は2千5百万円(前年同期は3千万円の営業損失)となりました。



次期の見通し

2022年度のわが国経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて社会活動を継続していく中で、政府の経済政策の効果や海外経済の改善により回復していくことが期待されるものの、変異株ウイルスの感染再拡大や原材料価格の高騰など、依然として不透明な状況が続くことが予想されます。

新型コロナウイルス感染症は、当アパレル・ファッション業界においても生活様式や消費者の価値観に変化をもたらし、今後、消費者ニーズの多様化がさらに進むことが考えられます。

これらの環境の変化に対応するため、当社グループは、景気の変動に左右されないブランド価値を確立し、さらなる売上の拡大を図ってまいります。併せて、厳しい経営環境においても持続的に利益を創出できる収益性の高いブランド事業に経営資源を効果的に投資してまいります。

次期の配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策のひとつであると認識し、財務体質の強化、積極的な事業展開に備える内部留保の充実を図りつつ、収益状況を勘案しながら利益配分を実施することを基本方針としております。

2022年12月期の配当(予想)につきましては、上記の基本方針に沿って1株当たり40円を予定しております。

業績予想 (連結)	売上高	510億円	経常利益	30億円
	営業利益	28億円	親会社株主に帰属する 当期純利益	20億円

(注) 2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、左記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。なお、2021年12月期の期首より当該会計基準等を適用したと仮定した場合の売上高の増減率は4.2%となります。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響は軽微であります。

LOOK Group事業トピックス

主カブランドの売上拡大施策

○イル ビゾンテ 新店舗の積極的な出店

イル ビゾンテでは2021年2月9日に三条通りと柳馬場通りが交差する角地に、京都エリアでは2店舗目となる「IL BISONTE 京都三条店」をオープンいたしました。(右画像)

その他にも名古屋ゲートタワーモール店やアミュプラザ熊本店、テラスモール湘南店など計6店舗の新規出店を行った結果、国内の店舗数は50店舗となり、更なるブランド価値の向上につながりました。

2022年には、「シルバージュエリーライン」を新たに一部店舗で秋に販売するなど、今後も更にブランドの世界観をお客様にお届けできるような取り組みを推し進めてまいります。



IL BISONTE 京都三条店



ドーバー ストリート マーケット ギンザ (期間限定ストア)

○マリメッコ ブランド創立70周年

マリメッコは2021年にブランド創立70周年を迎えました。アニバーサリーを記念して、マリメッコは世界中の才能あふれる若きクリエイターたちとタッグを組み、マリメッコのデザインを自由な発想で再解釈・表現するプロジェクトである「Marimekko-Co-created」を実施。年間3回に渡り、限定のコレクションを展開したほか、70周年を記念して公式アートブック「マリメッコ プリント作りのアート」が発刊され、日本語版も発売するなど、世界中で愛されるマリメッコの70周年記念を彩る様々なイベントを開催いたしました。

海外事業

○I.D.LOOK EC売上拡大策の推進

株式会社アイディーLOOKでは、2021年、自社ECサイト「I.D.LOOK MALL」において、ソウル市内の大型ビジョンを使用した、大規模なデジタルマーケティングを行ったほか、ソーシャルメディアやオンラインニュースなどの媒体からお客様に「I.D.LOOK MALL」の魅力を発信するなど、プロモーションを強化してまいりました。



ロッテ百貨店内「CAFÉ A.P.C.」外観

○「CAFÉ A.P.C.」初店舗をオープン

2021年8月、「CAFÉ A.P.C.」*の世界初となる店舗を韓国、華城市東灘の「ロッテ百貨店」内にオープンいたしました。中心のカウンターを12枚の木製パネルで囲った12角の空間では、A.P.C.の創設者Jean Touitou(ジャン・トゥイトウ)と彼の息子でパリの著名なシェフでもあるPierre Touitou(ピエール・トゥイトウ)が考案したオリジナルメニューをお楽しみいただけます。

*2019年11月にフランス、パリにて期間限定でオープンしていたカフェ

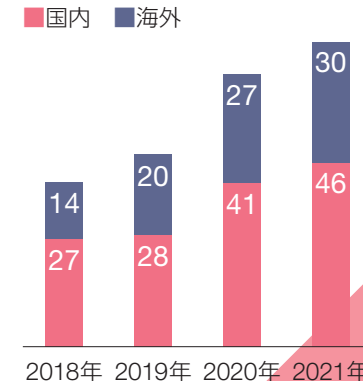
EC事業の強化

○EC売上・会員制アプリの拡大

LOOKグループでは、2021年、国内でのデジタル接客の強化や海外でのECプロモーションの強化などに取り組んだ結果、2023年度を最終年度とする中期経営計画の目標売上高である、国内外EC売上高70億円を2年前倒しで達成いたしました。

また、会員サービスプログラムである「LOOKメンバーシップ」は、この度、開設5周年を迎え、会員の皆様のご愛顧に感謝を込めて、各ブランドからのおすすめ商品や「ピンクリボン活動」に関連する商品をプレゼントいたしました。2021年12月末には、会員数88万人、店舗数260店舗を突破し、2022年度には100万人に到達する見通しです。

EC売上推移 (単位：億円)



2

LOOK Groupの環境への取り組み

ルックグループは、環境への負荷低減に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。

○リサイクルによる廃棄ゼロへの取り組み

ルックグループでは、グループ全体で最終的に廃棄対象となった衣料品および雑貨類をリサイクルにより廃棄ゼロにするために、2021年7月より委託先の企業を通じた衣料品およびその他雑貨品のリサイクルを開始いたしました。

衣料品はプラスチック原材料や自動車の内装材に、雑貨品類はセメント製造用の燃料等にリサイクルをすることで、廃棄・焼却処分によるCO₂排出量の削減と資源の再資源化を進めています。



○マリメッコ 環境への取り組み

マリメッコでは、環境に対する影響は最小限に抑え、皆様に長く喜んでいただける製品を提供したいと考えております。2021年には、生産過程で余ってしまったファブリックをパッチワークのように組み合わせたサステイナブルなバッグシリーズを数量限定で販売したほか、2021年プレフォールシーズンには、環境への負荷が少ない、植物から抽出した染料である、ナチュラルインディゴを使用した製品を初めて販売いたしました。

○A.P.C.DENIM バトラープログラム

A.P.C.DENIMバトラープログラムとはお客様が穿き込んだA.P.C.の定番ジーンズをA.P.C.のショップへお持ちいただくことで、半額で新しいジーンズと交換できるというアップサイクルプログラムです。

回収したデニムは洗われ、修理され、元所有者のイニシャルが記載されることで、第二の生を与えられ、ユニークなジーンズとしてショップに再登場します。

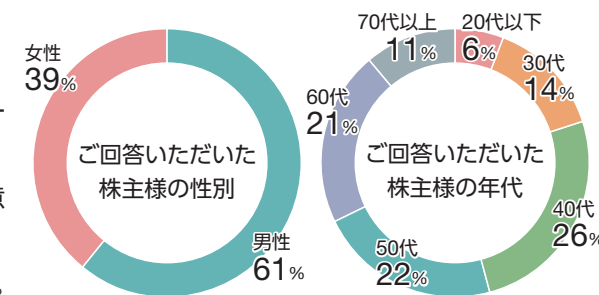
対象ショップなどの詳細はこちらからご覧いただけます。



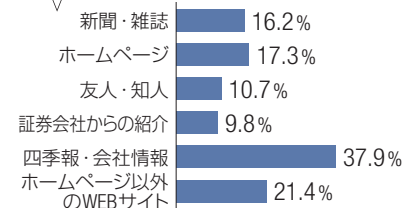
3

株主様アンケート結果報告

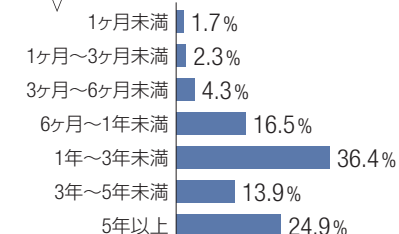
2021年9月～2021年10月にかけて実施いたしました「株主様アンケート」では346名の株主の皆様からご回答を頂戴いたしました。皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、頂戴しました貴重なご意見は今後のIR活動等の参考とさせていただきます。以下に、今回の「株主様アンケート」の結果の一部を掲載いたします。



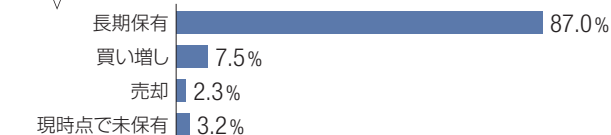
Q どのようにして当社をお知りになりましたか？(複数回答可)



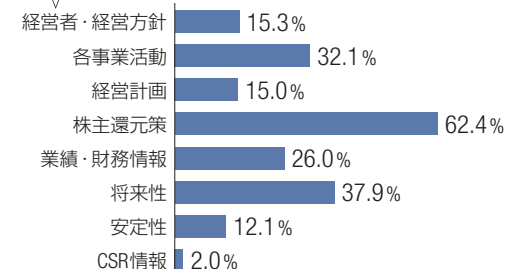
Q 当社株式の保有年数についてお聞かせください。



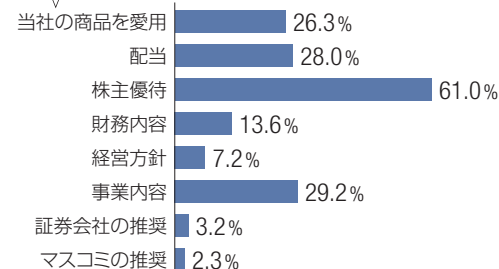
Q 今後の当社株式の保有方針について次のうちから1つお選びください。



Q 当社において、どのような点について関心をお持ちですか？(複数回答可)

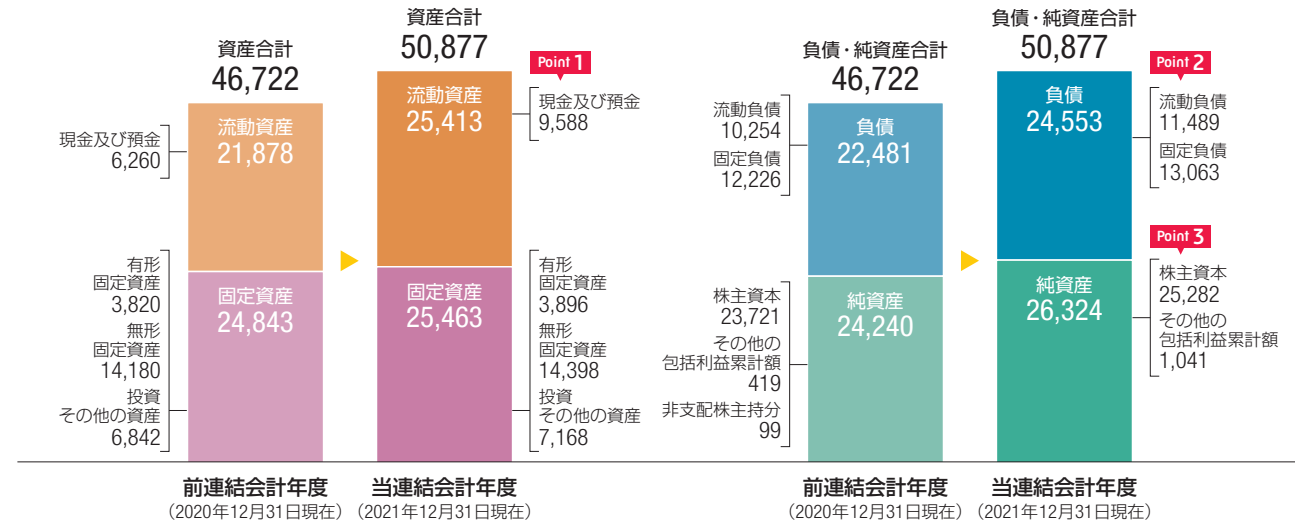


Q 当社株式を購入された際、重視されたポイントをお聞かせください。(複数回答可)



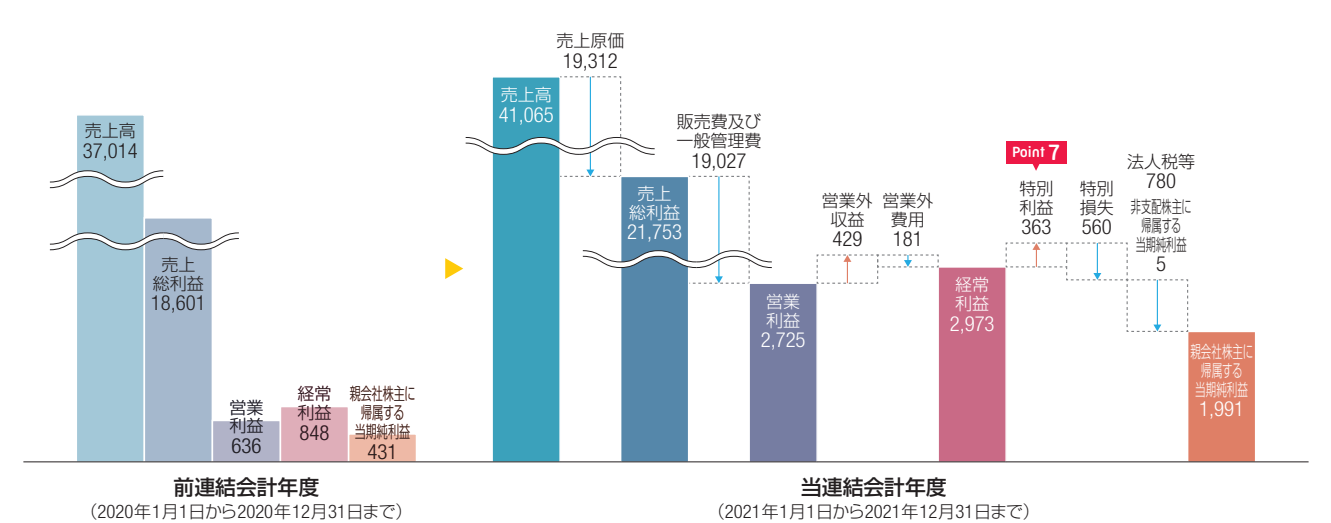
連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



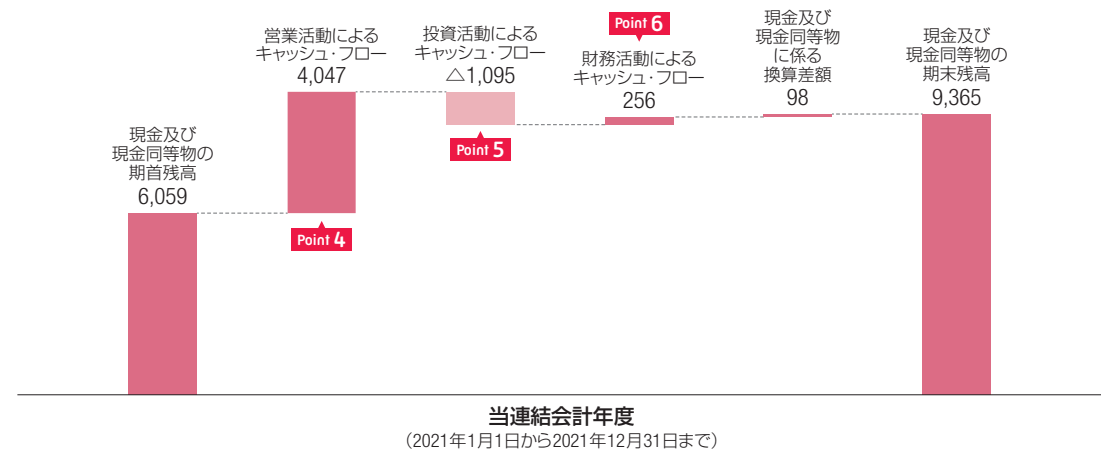
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)



- Point 1 資産の部**
現金及び預金が33億2千8百万円、受取手形及び売掛金が6億7千8百万円、それぞれ増加したことなどにより、508億7千7百万円となりました。
- Point 2 負債の部**
借入金、未払法人税等、未払消費税等がそれぞれ増加したことなどにより、245億5千3百万円となりました。
- Point 3 純資産の部**
自己株式の増加により2億5百万円減少しましたが、利益剰余金が17億6千万円、為替換算調整勘定が4億3千9百万円、それぞれ増加したことなどにより、263億2千4百万円となりました。
- Point 4 営業活動によるキャッシュ・フロー**
税金等調整前当期純利益は27億7千7百万円となり、増加要因として非資金項目である減価償却費12億8千3百万円、たな卸資産の減少6億2千6百万円など、減少要因として売上債権の増加6億2千4百万円などにより、40億4千7百万円の収入となりました。
- Point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー**
有形固定資産の取得による支出7億6千5百万円、無形固定資産の取得による支出2億2千9百万円などにより、10億9千5百万円の支出となりました。
- Point 6 財務活動によるキャッシュ・フロー**
配当金の支払額2億3千2百万円、自己株式の取得による支出2億5百万円などがありましたが、借入金の純増額8億8千4百万円があったことなどにより2億5千6百万円の収入となりました。
- Point 7 特別利益及び特別損失**
新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金、大規模施設等協力金及び感染拡大防止協力金などにより、特別利益として3億6千3百万円を計上いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休業の実施等により発生した損失(人件費・賃借料・減価償却費等の固定費)や減損損失の計上などにより、特別損失として5億6千万円を計上いたしました。

会社の概要

商号	株式会社ルックホールディングス
設立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資本金	63億8,943万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従業員数	1,184名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本店	東京都港区赤坂8丁目5番30号

主要グループ会社

2022年3月30日現在

アパレル関連事業

日本	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社
韓国	株式会社アイディールック 株式会社アイディージョイ
欧州及び その他海外	ルック(H.K.)Ltd. 洛格(上海)商貿有限公司 Il Bisonte S.p.A.
生産及びOEM事業	株式会社ルックモード
物流事業	株式会社エル・ロジスティクス
飲食事業	株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナル

役員構成

2022年3月30日現在

代表取締役社長	多田 和洋
常務取締役	澁谷 治男
取締役	斉藤 正明
社外取締役	井上 和則
社外取締役	秋葉 絢子
常勤監査役	高山 英二
常勤監査役	宇野澤 博文
社外監査役	山崎 暢久
社外監査役	服部 滋多

(注)1. 取締役 井上和則および秋葉絢子の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 山崎暢久および服部滋多の両氏は、社外監査役であります。
3. すべての社外取締役および社外監査役を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

株式情報

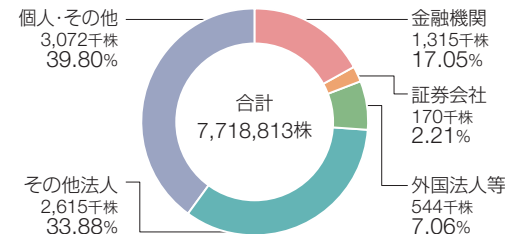
2021年12月31日現在

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,718,813株
株主数	5,984名

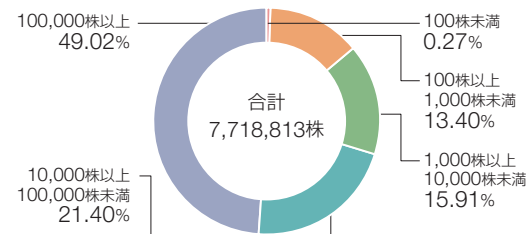
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
八木通商株式会社	1,145	14.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	573	7.44
フリージア・マクロス株式会社	368	4.78
美津濃株式会社	345	4.48
住友生命保険相互会社	154	2.00
野村信託銀行株式会社(ルックホールディングス従業員持株会専用信託口)	150	1.95
ルックホールディングス従業員持株会	141	1.83
株式会社三越伊勢丹	134	1.74
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	132	1.72
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	131	1.71

(注)持株比率は、自己株式(11,008株)を控除して計算しております。

所有者別状況(株式数比率)



所有株数別状況(株式数比率)



※自己株式11,008株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「10,000株以上100,000株未満」に含まれております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<https://www.look-holdings.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

最新ブランドニュース
など多彩な情報が満載

ブランドインデックス、その他各種イベント・新作情報・ニュース、
会社案内など最新情報をお届けしています。



IR情報

<https://www.look-holdings.jp/irinfor/>

IR情報ではトップメッセージ、個人投資家情報、決算短信などの各種IR資料やプレスリリース、株価情報など最新情報を掲載していますので、ぜひ一度
当社のIRページをご覧ください。



ルックがお届けするファッションブランド公式通販サイト

「ルックアットイーショップ」 **LOOK@E-SHOP**

お客様のライフスタイルに合わせ、パソコンやスマートフォンなどから
いつでもショッピングをお楽しみいただけます。

<https://www.e-look.jp>

▼QRコード



<https://www.look-holdings.jp>

株主優待制度のご案内

(1)対象となる株主様

毎年12月末日現在の株主名簿に記載または記録された、
当社株式1単位（100株）以上を保有されている株主様を
対象といたします。

(2)株主優待の内容

当社オンラインショップ「LOOK@E-SHOP（ルックアット
イーショップ）」（<https://www.e-look.jp>）またはルック
ホールディングスホームページ内の株主優待制度「ジェラ
テリア マルゲラ」のいずれかで、ご利用いただけます。

保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上 400株未満	3年未満	2,000円の株主優待割引券を贈呈
	3年以上*	2,500円の株主優待割引券を贈呈
400株以上	3年未満	4,000円の株主優待割引券を贈呈
	3年以上*	5,000円の株主優待割引券を贈呈

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年12月末日を基準日として12月末日および6月末日の株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して記載または記録されていることといたします。

IR
カレンダー

1月

2月

決算発表

3月

定時株主総会

4月

5月

第1四半期決算発表

6月

7月

8月

第2四半期決算発表

9月

10月

11月

第3四半期決算発表

12月

株式会社 ルックホールディングス 〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番30号